

令和2年度
阪南市西鳥取・下荘地域包括支援センター
事業報告書

令和3年3月
社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会
阪南市西鳥取・下荘地域包括支援センター

1. 総合相談支援業務

(1) 事業概要

身近な圏域でのワンストップの総合相談窓口として、社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員、認知症地域支援推進員等の専門性を活かし、高齢者を中心とした全ての住民の相談支援および訪問相談業務を行い、課題把握をします。その際、本会の特性と実績を活かし、様々な地域でのインフォーマル資源や多様な関係機関とのつながりを意識した対応を行います。

圏域内には、5つの校区（地区）でまちなかサロン・カフェや小地域ネットワーク活動が実施されています。できるだけ身近な場所で高齢者の困りごとを把握できるよう、これらのサロン・カフェ等と連携し、職員による出張相談を実施します。出張相談では、直接困りごとの相談を受けるとともに、校区（地区）福祉委員や民生委員等が把握している高齢者に関する情報もあわせてキャッチします。

(2) 実施内容・実績

○相談件数…4,492件

(3) 成果・評価

- コロナ禍でも、昨年度比微増の相談件数となりました
- 相談方法は、コロナ感染対策による訪問活動の自粛により、電話による対応が増えています
- 相談経路は、家族やケアマネジャー、民生委員・福祉委員など、コロナ前から関わる機関等からの相談が多く、反面、近隣での気づきによる相談や医療機関からの相談が減少しました。
- 相談内容は、介護予防サービスの中でも住宅改修が増加し、福祉サービスとしてくらしの安心ダイヤル事業への登録が増えました。また近隣トラブルや精神疾患、財産関係の相談が減少し、虐待事例は増加傾向にあります。
- 地域活動が自粛傾向にあったため、地域へ出向いての出張相談ができませんでした。

(4) 課題・今後の方針

- 個別支援においても、コロナの影響により、感染対策をしながらの対応が求められています。
- 地域や家族とのつながりがあった方であればあるほど、健康を維持している傾向が強く、早期の介入につなげることができています。
- 元々、孤立傾向にあった方はさらに孤立化が進み、症状が悪化してから相談につながるが多くなっています。
- 日頃から様々な人や機関とのつながりを大切にすることが、コロナや災害時においても健康を維持することにつながるため、コロナ禍でも近隣や家族、その他たくさんの方が気にかけていけるような支援を心がけていきます。

2. 権利擁護事業

(1) 事業概要

高齢者の人権を護るため、相談や通報に対し市役所や関係機関と連携し、対応します。また、高齢者虐待、消費者被害の早期発見や予防を図るため、対処法や制度についての啓発活動を行います。

(2) 実施内容・実績

【相談実績】(延べ件数)

相談内容内訳	相談件数
権利擁護	13
成年後見等	21
虐待関係	110
消費者被害等	5
財産・経済問題	34
合計	183

【会議・研修】

○地域包括支援センター職員向け 法律相談(2か月に1回 第4木曜日) 計6回

(3) 成果・評価

- 地域住民から成年後見制度についての問い合わせが多くあり、地域包括支援センターの周知が少しずつ広がっていることを感じられます。
- 地域住民や事業所から新型コロナウイルス関連の相談が増加していたこともあり、現場と照らし合わせた法的な助言を図る事ができました。
- 虐待関係の相談が激増しました。相談の都度、行政と協働し、対応することができました。

(4) 課題・今後の方針

- 消費者被害の防止、成年後見制度活用促進に加え特に昨今、新型コロナウイルスの影響で、高齢者虐待ケースの相談が増加してきております。地域の見守りや他の専門機関と連携し早期発見が促進するよう周知啓発に取り組みます。
- 過去の法律相談で用いた事例内容の見える化をおこない、事業所内の職員全員が同じような対応をできるようにしていきます。

3. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

(1) 事業概要

地域のケアマネジャーが包括的、継続的なケアマネジメントを実施できるよう、地域のネットワークを構築すると共にケアマネジャーへの支援を行います。

(2) 実施内容・実績

プログラム	実施回数	実績
ケアマネジャーへの支援・助言・相談	随時	延べ 573 件 (内訳) ●利用者支援相談 175 件 ●実務相談 228 件 ●給付算定関係 81 件 ●個別地域ケア会議 6 件 ●個別事例検討会 1 件 ●その他 82 件
ケアマネジャー連絡会	4 回 (中止 2 回、書面開催 1 回、オンライン開催 1 回)	延べ 60 名出席 (コロナ感染予防のため人数制限あり)
Mina de jirei α	10 回 (事例提供者、助言者として参加)	
6 市町ケアマネジャー合同連絡会	2 回 (書面開催)	

(3) 成果・評価

- ケアマネジャー間の連絡、調整手段として定着してきた「MCS」(メディカルケアステーション)が、行政の協力もありコロナ禍での情報共有手段として幅広く活用され、阪南市外の居宅介護支援事業所との情報共有や連携もスムーズに行えるようになりました。
- 6 市町ケアマネジャー合同連絡会では、コロナ禍でのケアマネジャー連絡会の開催方法や開催にあたっての工夫について各市町の状況を共有しました。
- 事業所連絡会、Mina de jirei、Mina de study はコロナ禍での開催手段に苦慮し、結果として開催に至りませんでした。
- ケアマネジャー連絡会はコロナ禍での開催手段として感染対策予防を行いながらの開催、書面開催を試みましたが、オンライン開催についての必要性の提言や要望もあり、オンラインにて開催しました。
- ケアマネジャーが主体となり、地域の社会資源や阪南市におけるケアマネジメントを集約する作業部会が発足しました。
- 自立支援型ケアマネジメントについて、研修会や自立支援型地域ケア会議、地域包括支援センターによる個別支援から自立支援の視点が浸透していましたが、コロナ禍における自立支援への動機づけが難しい状況にあります。

(4) 課題・今後の方針

- コロナ禍でケアマネジャーと顔を合わせる機会が激減し、個々のケアマネジャーが抱える問題の把握が難しくなっています。
- 地域包括支援センターへの提出書類の多さや煩雑さが、連絡会や研修会への参加を躊躇させたり、ケアプラン業務の受託がしづらい状況につながっていると考えています。
- 主任ケアマネジャー更新研修の要件である法定外研修 (Mina de study) を開催することができませんでした。
- コロナ禍でも法定外研修ができる手法を学び、オンライン等の開催ができるよう取り組みます。
- 必要書類の見直し (簡素化) により、地域のケアマネジャー業務の負担軽減を図ります。

4. 地域ケア会議推進事業

(1) 事業概要

圏域内での医療、介護、福祉等の専門職と、校区福祉委員会や民生委員、ボランティア等の住民活動者が連携協働し、高齢者の地域での生活を支えるため、個別、地区、市域等で地域ケア会議を開催します。
* 阪南市では地域ケア会議を「支えあい会議」という名称で進めています。

(2) 実施内容・実績

プログラム	実施回数	実績
個別支えあい会議	8回	認知症高齢者の見守り体制づくり、近隣トラブル、要介護者と住民の支えあい活動、生活困窮者に対する支援体制、在宅看取りに向けた話しあいなど
校区・地区支えあい会議	4回	コロナ禍における地域の高齢者の状況など
エリア会議	16回	各校区の状況や課題の共有
エリア会議全体会	3回	市域の状況課題の共有

(3) 成果・評価

○コロナ禍においても、社協のコミュニティワーカーや生活支援コーディネーター、コミュニティソーシャルワーカーとのエリア会議は開催し、地域活動の再開やフレイル高齢者の課題を共有、医療職による感染対策チームの発足や、介護予防の周知啓発のためのチラシづくりにつなげることができました。

(4) 課題・今後の方針

○コロナの影響で各活動が自粛と再開を余儀なくされており、住民と多機関の専門職が協働で話しあうなどの場づくりがうまく進められませんでした。
○地域住民と専門職が直接の対話はできなくとも、住民が求めることに対して当センターが調整役となり、専門職へそのニーズをつなぎ、広報等のコロナ禍だからこそできる新たなつながり活動を進められるよう取り組んでいきます。

5. 介護予防・生活支援サービスの体制整備事業への参画・協力

(1) 事業概要

本会に配置された第1層、第2層生活支援コーディネーターと緊密に連携し、総合事業や生活支援サービスのあり方、住民主体による支援について検討するため、「阪南市生活支援・介護予防サービス協議会」の運営に積極的に参画・協力します。

(2) 実施内容・実績

プログラム	実施回数	実績
第1層阪南市生活支援・介護予防サービス協議会への参画	4回	地域における支えあい活動の共有
第2層阪南市生活支援・介護予防サービス協議会への協力	6回	舞シニアサポート 箱の浦まちづくり協議会への参画

(3) 成果・評価

○生活支援コーディネーターと個別事例の連携を通じ、地域の支えあい活動によって支援の輪が広がり、困りごとの解決につながりました。

(4) 課題・今後の方針

○コロナの影響で住民主体サービスのB型活動も、感染対策をしながらの活動を強いられました。
○そんな中でも、屋外の活動は可能な限り継続されたり、電話による安否確認をおこなったり、また、要介護者への支援をどうするかを検討をおこなうなど、住民同士だからこそ気にかける活動にと熟していることを感じました。

6. 在宅医療・介護連携の推進事業

(1) 事業概要

医療職及び介護職の「顔のみえる関係」を築くため「医療と介護の多職種連携会議」へ参画し、医療と介護の円滑な支援体制を構築します。

(2) 実施内容・実績

【阪南市医療と介護の多職種連携会議（はなていネット）、泉佐野泉南医師会との協働事業】

プログラム	実施回数	実績
運営会議	1回	コロナ禍での各活動の共有
施設部会	1回	施設看取りについて
病院部会	(未開催)	コロナ禍で未実施
訪問看護部会	2回	コロナ禍の事業所間の協力体制
通所部会	2回	コロナ禍における困りごと
訪問介護部会	4回	コロナ禍における困りごとなど
3市3町多職種連携会議	1回	ACPや認知症支援の方向性など
市内診療所、クリニック訪問	4回	泉佐野泉南医師会協働事業

(3) 成果・評価

- MCS（インターネット上でのコミュニケーションツール）やオンライン会議の開催など、集まれなくても意見交換をする場づくりの調整をおこないました。
- コロナ禍における事業所間の協力体制を敷こうと、部会同士が意見交換をおこないました。
- 各事業所や専門職のコロナ禍における困りごとを集約、市と共有し、医療や介護事業所への情報発信や感染対策用品の市と包括が連動したスムーズな配布へとつながりました。

(4) 課題・今後の方針

- 部会同士がオンライン等のツールを活用して交流できる場を調整していきます。
- 専門職が地域住民と協働できる場づくりを推進していきます。
- 地域住民への啓発活動等は、集まりづらいことを想定し、広報誌等を活用しておこなっていきます。

7. 介護予防事業普及啓発活動への協力

(1) 事業概要

①いきいき百歳体操

錘を使用し、エビデンスのある体操を推奨することで、高齢者の筋力を高めるだけでなく、住民主体の通いの場の設置を支援し介護予防を図ります。

②出前講座

保健師や専門職による介護予防・認知症予防を行うことで、介護予防や認知症予防に対する意識づけを行い、健康増進を図ります。

(2) 実施内容・実績

①いきいき百歳体操

・DVDを見ながら、住民自ら錘を使用して体操を実施。

【初回指導】(1グループにつき4回) 実施 実績 開催 1グループ 1回 延参加者数9人

【経過指導】(3か月・6か月・1年後・以降半年に1回) 実績 開催 1回 延参加者数14人

【交流会】実績 開催0回 延参加者数0人

【活動再開時体力測定】実績 開催2回 延参加人数14人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、活動自粛が及ぼす体力測定の変化について調べた。

②出前講座

・ノリの良い曲に合わせての介護予防運動、脳トレを用いての認知症予防

実績開催 2回 延参加者数40人

(3) 成果・評価

○グループ設置目標数(市全体)30グループのところ、実績22グループであり、コロナの影響を多分に受けた活動となっています。

○活動を再開されたグループに体力測定を実施した結果、自粛前と比較すると5m歩行において有意差がみられました。

○体力測定の調査報告とフレイル予防を啓発するためのチラシを作成、周知しました。

○出前講座は、コロナ対策を十分におこなったうえで内容を考慮しながら、体操、クイズ等を実施しました。

(4) 課題・今後の方針

○身近な場所で百歳体操が開催されるよう、積極的にPRを行い普及啓発に努めます。

○百歳体操はコロナ禍でも行える体操であることをPRし、活動グループを増やしていきます。

○出前講座では、今後もコロナ禍が続くことを想定して、感染予防に考慮しながら自宅でも取り組めるフレイル予防を中心に取り組んでいきます。

8. 任意事業：介護用品支給事業、住宅改修支援事業、介護相談員派遣事業

(1) 事業概要

介護用品支給事業、住宅改修支援事業、介護相談員派遣事業に協力し、高齢者やその家族の経済的、精神的な負担軽減や介護サービス事業所のサービス力の質の向上をめざします。

(2) 実施内容・実績

【介護用品支給事業】：要介護3～5の高齢者に対し、申請代行等を行います。

○計1件

【住宅改修支援事業】：住宅改修に関する助言や住宅改修理由書の作成に協力します。

○計21件

【介護相談員派遣事業】：意見交換会への参加等を行います。

○コロナの影響で中止

(3) 成果・評価

【介護用品支給事業】

○1件のみですが、経済的な負担軽減につながりました。

【住宅改修支援事業】

○前年度比、約1.5倍ほどに増加しました。

【介護相談員派遣事業】

○コロナの影響で中止

(4) 課題・今後の方針

【介護用品支給事業】

【住宅改修支援事業】

○コロナ自粛により、手すり等の取り付けを希望相談が増えています。比較的、軽度なサービス利用である住宅改修のみで、健康維持できていることは普段からの介護予防への意識も低くない現れだと感じています。しかし、自粛が続くと悪化がひどくなっていくことは今後の課題にもなっており、さらなる介護予防活動との連携が必要です。

9. 認知症施策の推進

(1) 事業概要

認知症地域支援推進を配置し、認知症当事者や家族などが尊厳を保ちながら、その人らしく穏やかに生活を送ることができるよう、認知症施策や事業の企画、調整などコーディネートし、認知症の人が地域で暮らし続けるために、地域の支援者や支援機関とのつながりづくりをおこなっていきます。

(2) 実施内容・実績

プログラム	実績	
普及啓発・本人発信支援	認知症サポーター養成講座	コロナ禍により開催先を制限して実施
	地域別キャラバン・メイト連絡会	コロナ禍でもできる活動の提案
	地域別キャラバン・メイト代表者会議	コロナ禍で未実施
	認知症支援マップの作成	コロナ禍でもできる周知啓発活動として実施
	朗読劇「おにぎり物語」	市、住民活動者と協働
当事者、活動者支援	卓球クラブ中田会の活動支援	地域交流館や学校施設で活動
	おにぎり会の米作り活動支援	田植え、稲刈り、おにぎりカフェの開催
	くつろぎカフェ活動支援	コロナの影響で活動中止
	パーキンソン病患者 あざみ会活動支援	専門職との交流等
	マスターズC a f eの活動支援	認知症当事者、支援者、家族の交流等
	チームオレンジの構築	コロナ禍で未実施
集中支援チーム	認知症初期集中支援チーム員会議	包括内にて21回開催
	認知症初期集中チーム員支援会議	認知症サポート医とともに事例検討
	認知症初期集中支援チーム検討会	チームの実働の課題の共有
医療・介護の連携構築	認知症ネットワーク部会	1回開催
	3市3町認知症対応ネットワーク会議	泉佐野泉南医師会と協働
	大阪府内認知症連携関係者連絡会	府下の認知症支援情報の共有
	6市町認知症地域支援推進員連絡会	他市の認知症地域支援推進員と協働
	認知症疾患医療連携協議会	病院主催の集まりに参画

認知症地域支援推進員活動状況（個別支援）

相談内容内訳	相談件数
利用者からの相談	115
家族からの相談	114
関係機関等からの相談	57
関係機関との連携体制構築等	118
認知症初期集中支援チームとの連携	12

認知症地域支援推進員活動状況（団体支援）

	延件数	参加人数等
西圏域	133	2829

(3) 成果・評価

- 朗読劇をツールにした認知症啓発は、より身近に認知症を考える機会のきっかけづくりとなった。
- コロナの影響で集まったの講座の対案として、認知症支援マップづくりをおこなった。
- 大阪府の推薦でチームオレンジコーディネーター研修等事業への協力をおこなった。

- 当事者支援では、ニーズに合わせた専門職の参画やコロナ禍でもできる活動をおこなった。
- 専門職のネットワーク構築では、認知症当事者や家族を含めた多職種連携の事例報告をおこなった。

(4) 課題・今後の方針

- 認知症をきっかけに社会から孤立している状態にある人が増えています。
- 適切な医療・介護サービスへつながりだけでなく、役割を持って生活できるよう、また人と人とのつながりが途切れることのないように認知症にやさしいまちづくりの取り組みを進めていきます。

事業費総額 (円)	財源	事業開始年度
33,148,000 円	市委託料収入	2016年度

10. 介護予防サービス計画の作成

(1) 事業概要

加齢や疾病によって「生活の一部に支援が必要な状態」や、「介護保険サービスを適切に利用することで心身機能の改善が見込まれる可能性がある」として、要支援1、要支援2、事業対象者に認定された方々の自立支援を目指し、本人のやる気を引き出せるように介護保険サービスや地域住民、ボランティアやインフォーマルサービスを組み込んだ計画を本人、家族、関係機関と調整しながら作成します。

(2) 実施内容・実績

【ケアプラン作成件数】 下記 参照

- 総ケアプラン数 合計4,078件
(包括作成数 967件 委託数 3,109件)

(3) 成果・評価

- コロナの影響で、年度当初は介護保険の利用控えや申請控えにより、介護保険の利用が減少しました。
- 徐々に利用や申請が増加し、特に福祉用具貸与や住宅改修の利用申請が増加しました。
- コロナ自粛によるフレイル（心身の状態悪化）の予防に努めることを念頭に、家族や地域、専門サービスの調整を心がけました。

(4) 課題・今後の方針

- コロナが影響したフレイル予防を心がけるため、できる限り要介護状態にならないようなケアマネジメントを心がけていきます。

事業費総額 (円)	財源	事業開始年度
17,385,517 円	介護保険事業収入	2016年度

1 1. 認知症啓発業務

(1) 事業概要

認知症に対する理解の普及・啓発のため、職域、圏域、校区（地区）、自治会単位等の身近な地域での啓発活動を進めるため、認知症（予防）の勉強会や冊子づくり等を開催いたします。

(2) 実施内容・実績

【認知症普及・啓発業務】

① ワークショップ

内容：「思い出ノート作成講座」（回想法を活用したワークショップ）

日時：令和2年9月30日

場所：サービス付き高齢者向け住宅レジデンス・ケア ララさくら

講師：回想法ボランティアグループスイートピー 古家 久枝

実績、対象者：訪問看護ステーションさくら職員 7名

② にっこり阪南マップ（認知症支援マップ）作成

対象：各介護事業に関わる機関の窓口へ来所

専門職の出前講座や出張相談先での配布（カフェ・サロン等）

想定人数：不特定多数

(3) 成果・評価

○回想法という手法でこれまでの人生史を聞くことが、ACP（人生の終末期も見越した事前の話しあい）にも活用できることは事業所や施設側にとっても本人と話がしやすくなるという声もあり、エンディングノートの代替としても期待が見込めます。

(4) 課題・今後の方針

○今回の開催をきっかけに、認知症支援マップとともに周知を広げ、介護予防や認知症予防、ACP（人生の終末期も見越した事前の話しあい）につなげていきます。

事業費総額（円）	財源	事業開始年度
71,000 円	認知症啓発事業業務委託収入	2018年度

12. その他の会議・研修等

① 地域包括ケアに関連する会議

【会議名：阪南市介護保険・地域密着型サービス・地域包括支援センター運営協議会】

日時	名称（主催／場所）	参加者
令和2年7月30日	阪南市介護保険・地域密着型サービス・地域包括支援センター運営協議会（阪南市／阪南市）	熊抱
令和2年10月30日	阪南市介護保険・地域密着型サービス・地域包括支援センター運営協議会（阪南市／阪南市）	熊抱

【会議名：阪南市地域包括支援センター連絡会議（地域包括ケア推進戦略会議）】

日時	名称（主催／場所）	参加者
令和2年7月17日	阪南市・地域包括支援センター連絡会（阪南市／地域交流館）	熊抱
令和2年8月28日	阪南市・地域包括支援センター連絡会（阪南市／阪南市）	熊抱
令和2年9月18日	阪南市・地域包括支援センター連絡会（阪南市／オンライン）	熊抱
令和2年10月16日	阪南市・地域包括支援センター連絡会（阪南市／尾崎・東鳥取下荘地域包括支援センター）	熊抱
令和2年11月20日	阪南市・地域包括支援センター連絡会（阪南市／地域交流館）	熊抱
令和2年12月18日	阪南市・地域包括支援センター連絡会（阪南市／尾崎・東鳥取地域包括支援センター）	熊抱
令和3年2月19日	阪南市・地域包括支援センター連絡会（阪南市／オンライン）	熊抱
令和3年3月19日	阪南市・地域包括支援センター連絡会（阪南市／オンライン）	熊抱

【会議名：阪南市・阪南市地域包括支援センター主任ケアマネジャー会議】

日時	名称（主催／場所）	参加者
令和3年3月4日	主任ケアマネ会議（尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター／西鳥取・下荘地域包括支援センター）	寺井
令和3年3月25日	主任ケアマネ会議（尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター／西鳥取・下荘地域包括支援センター）	寺井

【会議名：阪南市地域包括支援センター社会福祉士会議】

日 時	名 称 (主催/場所)	参加者
令和2年4月13日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/西鳥取・下荘地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和2年6月11日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和2年7月2日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和2年8月7日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和2年9月10日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和2年10月8日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/西鳥取・下荘地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和2年11月12日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和2年12月11日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/西鳥取・下荘地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和3年1月15日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/西鳥取・下荘地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和3年2月12日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/西鳥取・下荘地域包括支援センター)	熊抱、尾崎
令和3年3月1日	社会福祉士会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/西鳥取・下荘地域包括支援センター)	熊抱、尾崎

【会議名：阪南市・阪南市地域包括支援センター医療職会議】

日 時	名 称 (主催/場所)	参加者
令和2年6月1日	医療職会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/西鳥取・下荘地域包括支援センター)	大塚
令和2年7月8日	医療職会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	大塚
令和2年8月11日	医療職会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/西鳥取・下荘地域包括支援センター)	大塚
令和2年9月14日	医療職会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	大塚
令和2年11月11日	医療職会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/西鳥取・下荘地域包括支援センター)	大塚
令和2年12月22日	医療職会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	大塚
令和3年1月14日	医療職会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	大塚
令和3年2月8日	医療職会議 (尾崎・東鳥取、西鳥取・下荘地域包括支援センター/尾崎・東鳥取地域包括支援センター)	大塚

【会議名：阪南市西鳥取・下荘地域包括支援センター職員会議】

日 時	名 称 (主催/場所)	参加者
令和2年6月1日	西包括職員会議 (西鳥取・下荘地域包括支援センター/同センター内)	西包括職員
令和2年7月28日	西包括職員会議 (西鳥取・下荘地域包括支援センター/同センター内)	西包括職員
令和2年8月25日	西包括職員会議 (西鳥取・下荘地域包括支援センター/同センター内)	西包括職員
令和2年9月29日	西包括職員会議 (西鳥取・下荘地域包括支援センター/同センター内)	西包括職員
令和2年10月27日	西包括職員会議 (西鳥取・下荘地域包括支援センター/同センター内)	西包括職員
令和2年11月24日	西包括職員会議 (西鳥取・下荘地域包括支援センター/同センター内)	西包括職員
令和2年12月22日	西包括職員会議 (西鳥取・下荘地域包括支援センター/同センター内)	西包括職員
令和3年1月26日	西包括職員会議 (西鳥取・下荘地域包括支援センター/同センター内)	西包括職員
令和3年2月16日	西包括職員会議 (西鳥取・下荘地域包括支援センター)	西包括職員

	／同センター内)	
令和3年3月23日	西包括職員会議（西鳥取・下荘地域包括支援センター ／同センター内)	西包括職員

【会議名：庁内連携会議】

日 時	名 称（主催／場所）	参加者
令和2年7月20日	庁内連携会議（阪南市／阪南市）	熊抱
令和3年2月10日	庁内連携会議（阪南市／阪南市）	熊抱

【会議名：校区福祉委員会委員長長事務長コーディネーター会議】

日 時	名 称（主催／場所）	参加者
令和2年7月10日	校区福祉委員会校区長事務長コーディネーター会議（阪南市社会福祉協議会／地域交流館）	熊抱
令和2年11月13日	校区福祉委員会校区長事務長コーディネーター会議（阪南市社会福祉協議会／地域交流館）	熊抱
令和3年1月8日	校区福祉委員会校区長事務長コーディネーター会議（阪南市社会福祉協議会／地域交流館）	熊抱
令和3年3月5日	校区福祉委員会校区長事務長コーディネーター会議（阪南市社会福祉協議会／地域交流館）	熊抱

② その他、関連する会議等

【会議名：地域密着型サービス運営推進会議（グループホーム白馬）】

日 時	名 称	参加者
令和2年9月16日	地域密着型サービス運営推進会議	尾崎

【会議名：地域密着型サービス運営推進会議（小規模多機能型居宅介護 下荘）】

日 時	名 称	参加者
令和2年9月24日	地域密着型サービス運営推進会議	熊抱
令和2年11月21日	地域密着型サービス運営推進会議	熊抱

【会議名：地域密着型サービス運営推進会議（ほっとデイわが家）】

【会議名：地域密着型サービス運営推進会議（グループホーム はるすのお家・阪南）】

日 時	名 称	参加者
令和2年9月25日	地域密着型サービス運営推進会議	熊抱

【会議名：地域密着型サービス運営推進会議（ピープルデイサービスセンターはんなん）】

【会議名：地域密着型サービス運営推進会議（デイサービスセンター海豊・小規模多機能型サービス海豊）】

日 時	名 称	参加者
令和2年11月19日	地域密着型サービス運営推進会議	熊抱、尾崎

③ その他、関連する研修等

【資質向上、新任研修会等】

日 時	名 称（主催／場所）	参加者
令和2年5月27日	阪南社協新任職員研修（阪南社協／地域交流館）	尾崎
令和2年6月19日	阪南社協新任職員研修（阪南社協／地域交流館）	尾崎
令和2年6月30日	阪南社協新任職員研修（阪南社協／地域交流館）	尾崎
令和2年9月10日	災害対策研修（訪問看護ステーションさくら／訪問看護ステーションさくら）	大塚
令和2年9月26日	防災訓練（阪南消防署組合／阪南消防署）	尾崎

【地域包括ケアに関連する研修等】

日 時	名 称（主催／場所）	参加者
令和2年10月23日	大阪ええまち研修（大阪府／オンライン）	熊抱
令和2年11月9日	ふくしのまちづくり研修（阪南社協／阪南市役所）	熊抱、大塚、船津、寺井
令和3年1月8日	介護予防ケアマネジメント研修（大阪府／オンライン）	寺井

【医師会・在宅医療関係研修会】

日 時	名 称（主催／場所）	参加者
令和2年10月21日	ACPを理解しましょう（ふれあい四季の郷／ふれあい四季の郷）	尾崎
令和2年12月12日	ACP研修（大阪府／オンライン）	熊抱

【認知症関係研修会】

日 時	名 称（主催／場所）	参加者
令和2年11月18日	オレンジチューター養成研修（全国キャラバンメイト連絡協議会／オンライン）	岡

令和2年11月20日	キャラバンメイト養成研修（大阪府／大阪府社会福祉会館）	尾崎
令和3年3月24日	若年性認知症支援研修及び推進員フォローアップ研修（大阪府／オンライン）	岡
令和3年3月25日	認知症疾患医療センター研修会（認知症疾患医療センター／水間病院）	岡

【人権、権利擁護、虐待関係研修会】

日 時	名 称（主催／場所）	参加者
令和2年7月19日	ヒューマンライツセミナー（阪南市／文化センター）	岡
令和2年8月19日	成年後見制度利用促進研修（阪南市／地域交流館）	熊抱

【講師協力、視察研修等】

日 時	名 称（主催／場所）	対応
令和2年11月	第3層生活支援コーディネーター養成研修（阪南市社会福祉協議会／地域交流館）	大塚、岡

④ メディア・広報（TV・新聞・機関紙等）への掲載

日 時	名 称	対応
令和2年6月	J-COM りんくう つながるニュース 「おにぎり会 田植え」	岡
令和2年6月	MHK ニュースほっと関西 「マスタースC a f é」	岡
令和2年12月	NHK 厚生文化事業団主催 「第4回認知症とともに生きるまち大賞」受賞 「マスタースC a f é」	岡
令和3年3月	J-COM りんくう特別番組 「朗読劇：おにぎり会」	岡、熊抱